

動物実験等の実施状況

(平成 27 年度)

1. 動物実験等の実施件数等						実施件数合計			6 件
小哺乳類			大中哺乳類			鳥類			
動物種	件数	飼養数	動物種	件数	飼養数	動物種	件数	飼養数	
マウス	0	0	ウシ	5	67	ニワトリ	1	201	
ラット	0	0	ヤギ	0	0	アヒル	0	451	
			ヒツジ	0	0	爬虫類			
			イノシシ	0	0				
						動物種	件数	飼養数	
						カメ	0	0	

2. 動物実験の主な内容

・カプセルを用いた消化・吸収試験

・暑熱ストレス対策試験

・飼料給与試験

等

※飼養数は、平成 27 年度当初の頭数。

様式 4

平成 27 年度
動物実験に関する自己点検・評価報告書

地方独立行政法人
大阪府立環境農林水産総合研究所
動物実験委員会

平成 28 年 11 月

I. 体制等の整備状況

1. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 環境研究部における動物実験等の実施に関するガイドライン ・ 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 動物実験等実施規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・ ガイドライン (平成 24 年 1 月 28 日制定) に適正に定められている。なお、平成 27 年 12 月 21 日に動物実験等実施規程が制定され、以降は動物実験等実施規程により適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・ 該当せず。

2. 実験動物の飼養保管の体制

(部局内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 環境研究部における動物実験等の実施に関するガイドライン ・ 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 動物実験等実施規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・ ガイドライン (平成 24 年 1 月 28 日制定) に適正に定められている。なお、平成 27 年 12 月 21 日に動物実験等実施規程が制定され、以降は動物実験等実施規程により適正に定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期

・該当せず。

3. その他

(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

・該当せず。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果

- ☒ 規定に適合し、適正に機能している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 環境研究部における動物実験等の実施に関するガイドライン
- ・地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 動物実験等実施規程

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)

- ・平成 27 年度はガイドラインに基づき、活動した。平成 27 年 12 月 21 日に動物実験等実施規程が制定されたため、改めて委員を指名した。

4) 改善の方針、達成予定時期

・該当せず。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果

- ☒ 規定に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 環境研究部における動物実験等の実施に関するガイドライン
- ・地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 動物実験等実施規程

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)

- ・平成 27 年度はガイドラインに基づき、動物実験 6 件を承認した。なお、平成 28 年度以降は、平成 27 年 12 月 21 日に制定した動物実験等実施規程に基づき動物実験の審査等

を実施する。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・該当せず。

3. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 動物実験等実施規程 ・作業標準書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) ・飼養保管が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・該当せず。

4. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・作業日誌 ・現場ミーティングノート
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) ・施設の維持管理は適正に行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・該当せず。

5. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・作業標準書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・新規採用職員については、作業標準書をもとに現場研修を実施。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・該当せず。

6. 自己点検・評価、情報公開

（基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験に関する自己点検・評価報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・自己点検・評価、情報公開において適正に行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・該当せず。

7. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果） ・特になし。

動物実験等の実施状況

(平成 28 年度)

1. 動物実験等の実施件数等						実施件数合計 4 件		
小哺乳類			大中哺乳類			鳥類		
動物種	件数	飼養数	動物種	件数	飼養数	動物種	件数	飼養数
マウス	0	0	ウシ	2	50	ニワトリ	2	209
ラット	0	0	ヤギ	0	0	アヒル	0	139
			ヒツジ	0	0	爬虫類		
			イノシシ	0	0	動物種	件数	飼養数
						カメ	0	0
2. 動物実験の主な内容 家畜の生涯生産性効率のための育種手法の開発 乳用牛の泌乳中のエネルギーバランスにおける遺伝的能力評価形質の探索 産卵鶏の生産性向上に関する研究 鶏卵の卵黄色改善資材の効果判定 ※飼養数は、平成 28 年度当初の頭数。								

備考 1 「1. 動物実験等の実施件数等」の欄は、報告する年度における動物実験等の実施件数の総数、動物種（上記に表示のない動物種による動物実験等を実施している場合は、当該動物種を新たに記載すること。）ごとの件数及び飼養数について記載

3 「2. 動物実験の主な内容」の欄は、報告する年度において実施した主要な動物実験の目的や実験方法等の内容について簡潔に記載すること。

様式 4

平成 28 年度
動物実験に関する自己点検・評価報告書

地方独立行政法人
大阪府立環境農林水産総合研究所
動物実験委員会

平成 2 9 年 1 月

I. 体制等の整備状況

1. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 動物実験等実施規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・ 動物実験等実施規程に適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・ 該当せず。

2. 実験動物の飼養保管の体制

(部局内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 動物実験等実施規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・ 動物実験等実施規程に適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・ 該当せず。

3. その他

(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

該当せず。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果

- ☒ 規定に適合し、適正に機能している。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 動物実験等実施規程

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)

- ・動物実験等実施規程に基づき、活動した。

4) 改善の方針、達成予定時期

- ・該当せず。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果

- ☒ 規定に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 動物実験等実施規程

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)

- ・動物実験等実施規程に基づき、動物実験4件を承認した。

4) 改善の方針、達成予定時期

- ・該当せず。

3. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か？ 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 動物実験等実施規程 ・ 作業標準書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・ 飼養保管が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・ 該当せず。

4. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか？ 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 作業日誌 ・ 現場ミーティングノート
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・ 施設の維持管理は適正に行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・ 該当せず。

5. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・作業標準書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) ・新規採用職員については、作業標準書をもとに現場研修を実施。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・該当せず。

6. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験に関する自己点検・評価報告書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。) ・自己点検・評価、情報公開において適正に行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・該当せず。

7. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果) ・特になし。
--

動物実験等の実施状況

(平成 2 9 年度)

1. 動物実験等の実施件数等						実施件数合計 3 件		
小哺乳類			大中哺乳類			鳥類		
動物種	件数	飼養数	動物種	件数	飼養数	動物種	件数	飼養数
マウス	0	0	ウシ	0	16	ニワトリ	3	234
ラット	0	0	ヤギ	0	0	アヒル	0	0
			ヒツジ	0	0			
			イノシシ	0	0	爬虫類		
						動物種	件数	飼養数
						カメ	0	0
2. 動物実験の主な内容								
・採卵鶏の生産性向上に関する研究 ・卵殻質に着目した産卵鶏の暑熱対策試験 ・鶏卵の卵黄色改善資材の効果判定								
※飼養数は、平成 29 年度当初の頭数。								

備考 1 「1. 動物実験等の実施件数等」の欄は、報告する年度における動物実験等の実施件数の総数、動物種（上記に表示のない動物種による動物実験等を実施している場合は、当該動物種を新たに記載すること。）ごとの件数及び飼養数について記載

3 「2. 動物実験の主な内容」の欄は、報告する年度において実施した主要な動物実験の目的や実験方法等の内容について簡潔に記載すること。

様式 4

平成 2 9 年度
動物実験に関する自己点検・評価報告書

地方独立行政法人
大阪府立環境農林水産総合研究所
動物実験委員会

平成 3 0 年 1 2 月

I. 体制等の整備状況

1. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 動物実験等実施規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・ 動物実験等実施規程に適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・ 該当せず。

2. 実験動物の飼養保管の体制

(部局内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 動物実験等実施規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・ 実験動物管理者は飼養保管に関する業務内容の把握等、適切な活動を行っている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・ 該当せず。

3. その他

(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

該当せず。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 ☒ 規定に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 動物実験等実施規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・ 動物実験等実施規程に基づき、活動した。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・ 該当せず。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 ☒ 規定に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 動物実験等実施規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・ 動物実験等実施規程に基づき、動物実験3件を承認した。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・ 該当せず。

3. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か？ 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 動物実験等実施規程 ・ 作業標準書 ・ 産卵記録用紙
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・ 飼養保管が適正に実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・ 該当せず。

4. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか？ 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 動物実験等実施規程
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) ・ 動物実験等実施規程に基づき、施設の維持管理は適正に行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・ 該当せず。

5. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・作業標準書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・作業標準書をもとに現場研修を実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・該当せず。

6. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験に関する自己点検・評価報告書 ・大阪府立環境農林水産総合研究所ホームページ
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・自己点検・評価、情報公開において適正に行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・該当せず。

7. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

・特になし。